

るものと考えられる。(卵巣発達せず未成熟のものである本年生のも  
と思われる。)

- 2 本試験に使用した発電機は120V, 200W の電球1箇しか点打出来ない  
ので操業上不便を感じる魚多く又時々消える場合もあつて時季的産卵料  
調査としては不充分であつた。

#### 産卵物の処理

- 1 ホスルルーり残は標本として処理した。
- 2 ヤビナゴの残は1部は標本残りは雑魚のため捕獲地に於て放棄した。

網探電網並びに1本釣漁業試験 自1957年11月7日  
至 9 年11月9日

### I 経 過 概 要

11月7日出漁準備を完了し午後2時20分泊港出帆し曳網試験を実施し  
ながら大船岬を字尾午後5時30分ルカン礁附近に到着したので礁の周辺で  
曳網試験を実施午後6時20分周礁北西方沿岸にて投錨仮泊, 1本釣試験実  
施翌8日喜屋武岬沖合, 糸満沖合で日中は曳網試験を実施日没後糸満地先「  
リーフ」附近(別図参照)にて1本釣試験実施翌9日糸満沿岸より神山島周  
辺で曳網試験実施同日12時25分泊港へ帰港した。

### II 使 用 船

かもめ丸 2.2 吨 燒玉式 15 馬力

### III 期 間

自1957年11月7日 至11月9日 3日間

### IV 調 査 範 囲

(イ) ルカン礁周辺 (ロ) 糸満沖合 (ハ) 喜屋武岬2~3哩沖合百尋線  
一帯 (ニ) 神山島周辺(別図参照)

### V 試 験 項 目

(イ) 曳網試験 網探電網(中層曳) (表層曳)  
(ロ) 網フカセ釣(1本釣)

### VI 試験の概況

#### 1. 曳網漁業試験

本試験は泊港外より操業開始し大船岬を経てルカン礁迄11.5里ルカン

121°E 122°E 123°E 124°E

1957年8月1日  
1957年8月13日

● 蘇聯試驗站  
○ 西力試驗站



礁周辺で3度、糸衝沖合より喜屋武岬100号線附近及び慶伊瀬島周辺を経て沖合リーフ附近迄52度に亘り平均船速4~5節で試験操業したが上層度、中層度共に魚獲皆無で見込なかった。尚該試験中は毎上時化の為沿岸より遠ざかるに従って船速も低下し予定漁場での操業困難で充分な調査が出来ず主として島嶼近く續つて試験した為上層、中層の魚付状況の結果を見る事が出来なかったと思われた。当時の水温ルカン礁附近25.3度、糸衝沖24.8度、神山島附近24.8度、喜屋武岬沖合25.5度を示していた

## 2 一本釣試験

予定漁場での仮泊並びに試験操業が困難な為島嶼近くの糸衝地先リーフ附近で実施したが下げ潮流速く(約3節と推定)幹繩を投入すると30度位の角度で流圧され水深20号の漁場で其の倍以上の幹繩を投入しなければ海底に達しない状態で操業面上支障を来たしたので1時試験を中止し午前零時頃停錨時を見計らい再び魚獲試験を実施したが見込みなかった。

当時の水温 25度

## 所 感

今回は惣田礁を目当てにして試験の要甚に当つたが天候時化の為漁場を選定しての操業も充分出来ず其の上沿岸での惣田礁の群が見受けられない事と調査も不十分な為魚獲皆無の状態となつたものと思われ尙漁期も遅れているように考えられる。

Ⅴ 漁場及航跡 別図参照

Ⅵ 海洋観測 別表参照

海洋観測表

月日	位置	天候 雲量	風向 風力	気圧 気圧	水量	波 うねり	水色	透明度	時刻	備考
11月7日	ルカン礁附近	d	NE	224	253	3	4		16h	
		9	3	-		2				
11月8日	*	0	NNE	209	252	4	3		8h	
		10	5	-		2				
*	喜屋武岬附近	d	NE	21	25	4	2		12h	
		9	5	-		2				
*	糸衝沖	0	NE	22	249	3	3	225 <sup>m</sup>	16h	
		10	4	-		2				
11月9日	神山島附近	d	NE	21.9	24.9	3	3		8h	
		9	4	-		1				
*	白瀬沖合	0	NE	23.0	24.9	2	4		12h	
		9	3	-		1				

